

木下理事長様

平成28年度広報部会報告

平成28年4月12日

広報部長黒川正道

広報部会を開催したので、規定により報告する。

日時:平成28年4月9日13:00~10日15:00

参加者:黒川、道越、長田、太田、山田、山本、堀、中越、計8人全員、特別参加杉村さん

1、杉村さんの退部

4年間、主として「弓道石川」の編集作業をしていただいたが、今年度から女子部長就任のため、退部。

2、今後の課題等議論した事項

- ・評議員会でのスマホ対応要望に関する報告、「今後の課題とするが、かなり難しい」との回答をしたことを報告。
- ・スマホ専用ページとして二本立てすることは、かかる稼働が倍になり非現実的で、実現は難しい。
- ・1時間ほど意見交換をしたが、メニュー形式を変更することで、内容は従来のもままで、少しスマホで見やすくする方法があるかも知れない⇒今後検討する方向。
- ・各加盟団体の紹介記事が古くなったり、少ないとの意見が出たが、昨年も二度依頼したにもかかわらず進展しないため、70年史とも関連するので、その投稿記事の活用をすることを、評議員会資料の中でも記して説明していることを情報共有。

3、今年度の担当分担の意見交換

- ・当面現状のまま、70周年記念誌の投稿記事アップの増要素を今後検討。
- ・黒川は、5月、8月、11月の理事会常任理事会が都合により出席できないので、もし代理出席との話になれば、道越さん、長田さんのどちらかをお願いするかも知れない。

4、弓道石川&弓道誌

○弓道石川:改革案常任委員会で方針が示された上で、意見を聞くという経過で、却下だった。印刷発行部数も現状維持とのことだが、発行部数は広報部として直接業務に関係ないので今後、注視する。

○弓道誌投稿は順調に推移しているが、

- ・4月も大会がなく記事に苦戦する。
- ・我々が、他県の大会結果に関心が無いように、大会結果などを弓道誌に載せても、意味があるのだろうかという、素朴な疑問も出された。⇒確かに、他の県の記事など全く見ていない。大会結果と異なる記事を提供するように言われても、中々難しいので、従来通り投稿するしかないが、形式的でつまらないとも言える。⇒大会結果をやめて、70年史で報告される加盟団体の紹介記事を順に載せる手もあるが…今後の課題。

5、実技編

部員の中から昇段者も出ていることもあり、過去の实技編は好評で、前回の広報部会で実技編を1泊でみっちりやりたいとの声から、4月9日午後は山中弓道場、10日は加賀市武道館弓道場をお借りして、相互研修を実施。

- ・和服が初めての部員もいたため、和服の着方に始まり
- ・4人立ち審査形式を動画でチェック。
- ・頭上からの動画を使ったチェック
- ・全員を3組に分け、一つの射礼
- ・個別の射の相互指導。
- ・矢渡・納射形式による、介添えのチェック

などを各人の希望を取り入れてメニューを柔軟に設定し、気心の知れたメンバーが、年齢、段位等の上下を気にすることなく質問したり、指摘しあったりと、濃密な時間を過ごした。

広報部に所属しても、弓道そのものが上手になるわけではないとの声から実施するようになった広報部会実技編も、それぞれに、課題を持って取り組むようになって、効果が上がるようになってきた気がする。今年度も、部員の大会での活躍や昇段・昇格につながることを期待している。最後に、広報部活動を継続的に昨年度同様に取り組んでいくことを確認して終了。

以上